

平成 30 年（2018 年）の硫黄島火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

噴火警報・予報の状況、2018 年の発表履歴

2018 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

2018 年の活動概況

・噴気等表面現象の状況（表 1）

気象庁が実施した海上からの観測、海上保安庁及び第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測で、島の北側に位置する硫黄岳火口や島の中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気が観測されました。また、3 月及び 7 月の観測では、硫黄岳火口の西側海岸線に沿って変色水が認められました。



図 1 硫黄島 火口の位置

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。この資料は海上保安庁及び第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

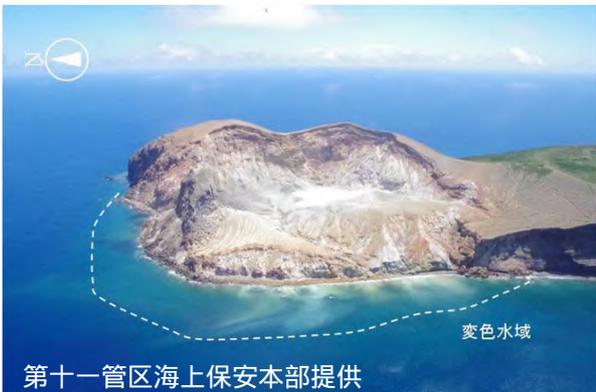
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

表 1 硫黄島島の状況

日付及び観測機関	噴気などの状況	
<p>1月15日 気象庁</p>		<p>島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。周辺海域での変色水は認められませんでした。</p>
		

日付及び観測機関	噴気などの状況	
<p>3月10日 海上保安庁</p>		<p>硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気孔に白色噴気が認められました。硫黄島西側及び南側の海岸線で変色水域が認められました。</p>
		
		

日付及び観測機関	噴気などの状況	
<p>6月13日 気象庁</p>	<p>硫黄岳火口からの噴気</p> 	<p>島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。</p>
	<p>グスク火口からの噴気</p> 	

日付及び観測機関	噴気などの状況	
<p>7月14日 第十一管区海上保安本部</p>	 <p>硫黄岳火口 白色噴気</p> <p>第十一管区海上保安本部提供</p>	<p>硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側で弱い白色の噴気が認められました。また、硫黄岳火口の西側の海岸線に沿って黄緑色の変色水域が分布していました。</p>
	 <p>グスク火口 白色噴気</p> <p>第十一管区海上保安本部提供</p>	
	 <p>変色水域</p> <p>第十一管区海上保安本部提供</p>	